

第142回 岐阜市管内景況調査報告書(平成27年10～12月期)

【調査要領】

- 1 対象期間 平成27年10～12月、平成28年1～3月期の見通し(平成27年11月15日時点の調査)
- 2 調査方法 岐阜商工会議所経営支援員の実訪及び郵送
- 3 調査対象 岐阜市内の中小企業**472**社(回答数256社、回収率54.2%)
- 4 D I 値 景気動向を現す景気早見表(「増加・好転」－「減少・悪化」)

管内景況の概要(業種全体)

今期(平成27年10～12月期)の管内中小企業の景況を見ると、「売上額」のみ0.8ポイント悪化のマイナス19.0となったが、それ以外の項目については改善した。

来期(平成28年1～3月期)の景況についてみると、売り上げと従業員については改善の見込みだが、それ以外の項目については悪化の見通しである。

全業種

(前年同期比)

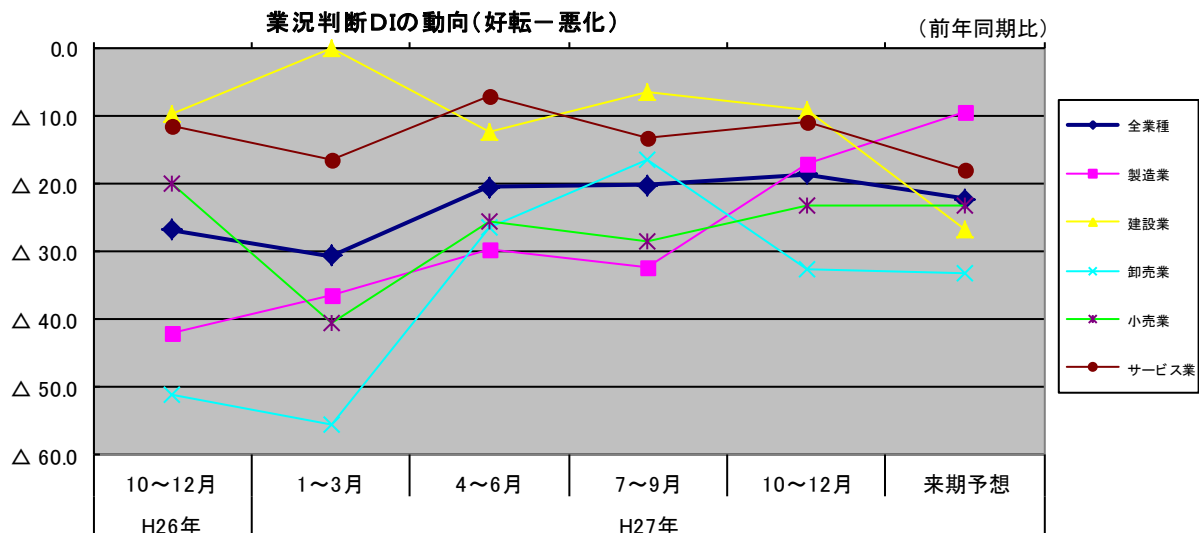
	業況判断	売上額	在庫	経常利益	資金繰り	従業員
26年10～12実績	△ 26.8	△ 23.6	△ 9.2	△ 35.0	△ 17.1	△ 6.6
27年1～3実績	△ 30.7	△ 29.3	△ 12.6	△ 30.1	△ 21.2	△ 8.2
4～6実績	△ 20.4	△ 14.6	△ 6.6	△ 24.6	△ 17.8	△ 0.4
7～9実績	△ 20.1	△ 18.2	△ 11.2	△ 19.3	△ 13.0	0.0
10～12実績	△ 18.6	△ 19.0	△ 7.0	△ 14.3	△ 7.0	5.4
28年1～3予想	△ 22.3	△ 14.8	△ 11.5	△ 16.8	△ 11.4	8.7

1. 業況

全業種のDI値は、△18.6と前期(△20.1)に比べると1.5ポイント改善した。

業種別では、製造業・小売業・サービス業で改善したが、建設業・卸売業においては悪化した。

業況判断DI(「好転」－「悪化」)			(前年同期比)					
	H26年	H27年						
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	来期予想		
全業種	△ 26.8	△ 30.7	△ 20.4	△ 20.1	△ 18.6	△ 22.3		
製造業	△ 42.0	△ 36.5	△ 29.8	△ 32.2	△ 17.0	△ 9.4		
建設業	△ 9.5	0.0	△ 12.2	△ 6.5	△ 8.9	△ 26.7		
卸売業	△ 51.1	△ 55.6	△ 26.3	△ 16.4	△ 32.7	△ 33.3		
小売業	△ 20.0	△ 40.7	△ 25.5	△ 28.6	△ 23.2	△ 23.2		
サービス業	△ 11.5	△ 16.4	△ 7.1	△ 13.2	△ 10.7	△ 17.9		

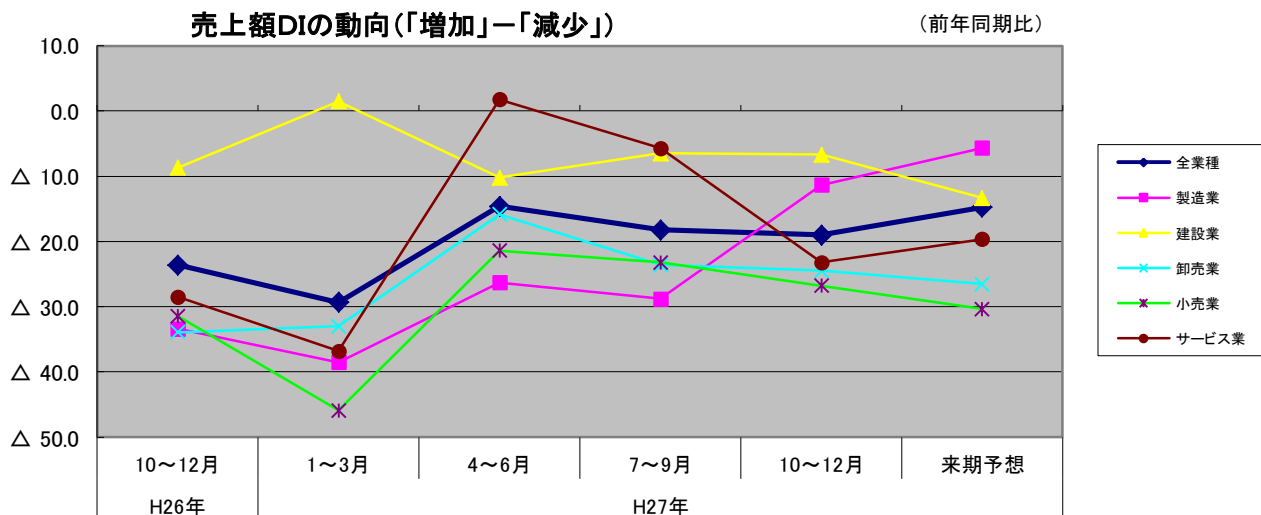


2. 売上(加工)額

全業種の DI 値は、△19.0と前期(△18.2)に比べて0.8ポイント悪化した。

業種別では、製造業において17.5ポイントの大幅な改善が見られたが、それ以外の業種については悪化した。

	売上額DI(「増加」-「減少」)				(前年同期比)	
	H26年 10～12月	H27年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	来期予想
全業種	△ 23.6	△ 29.3	△ 14.6	△ 18.2	△ 19.0	△ 14.8
製造業	△ 33.4	△ 38.5	△ 26.3	△ 28.8	△ 11.3	△ 5.7
建設業	△ 8.7	1.5	△ 10.2	△ 6.5	△ 6.7	△ 13.3
卸売業	△ 33.9	△ 33.0	△ 15.8	△ 23.6	△ 24.5	△ 26.5
小売業	△ 31.4	△ 45.9	△ 21.4	△ 23.2	△ 26.8	△ 30.4
サービス業	△ 28.5	△ 36.8	1.8	△ 5.7	△ 23.2	△ 19.6

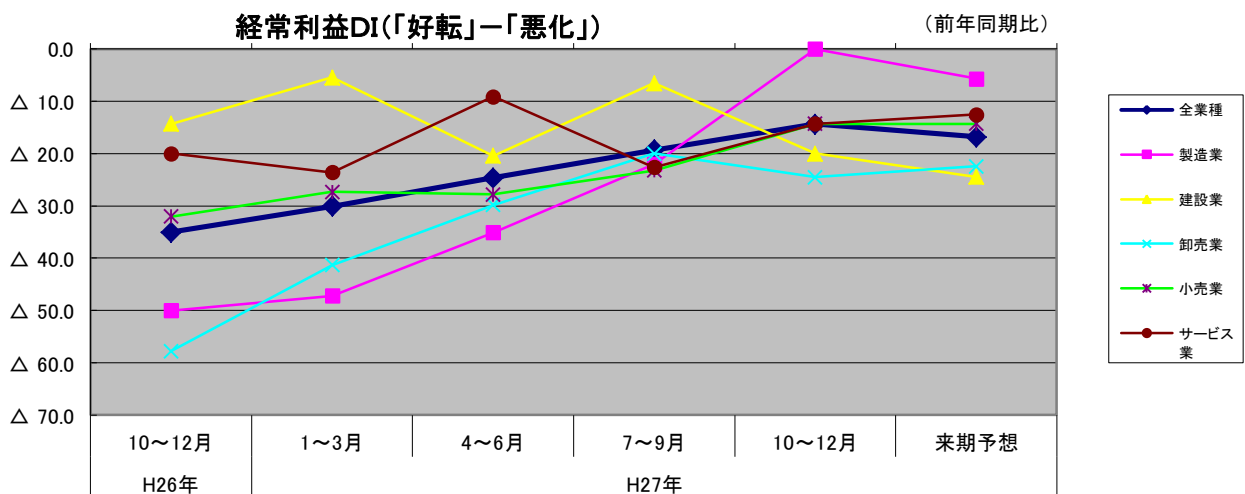


3. 採算(経常利益)

全業種の DI 値は、△14.3と前期(△19.3)に比べて5ポイント改善した。

業種別では製造業・小売業・サービス業において改善したが、建設業・卸売業において悪化した。

	経常利益DI(「好転」-「悪化」)				(前年同期比)	
	H26年 10～12月	H27年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	来期予想
全業種	△ 35.0	△ 30.1	△ 24.6	△ 19.3	△ 14.3	△ 16.8
製造業	△ 50.0	△ 47.2	△ 35.1	△ 22.0	0.0	△ 5.7
建設業	△ 14.3	△ 5.4	△ 20.4	△ 6.5	△ 20.0	△ 24.4
卸売業	△ 57.8	△ 41.3	△ 29.8	△ 20.0	△ 24.5	△ 22.4
小売業	△ 32.0	△ 27.3	△ 27.8	△ 23.2	△ 14.3	△ 14.3
サービス業	△ 20.0	△ 23.6	△ 9.1	△ 22.6	△ 14.3	△ 12.5



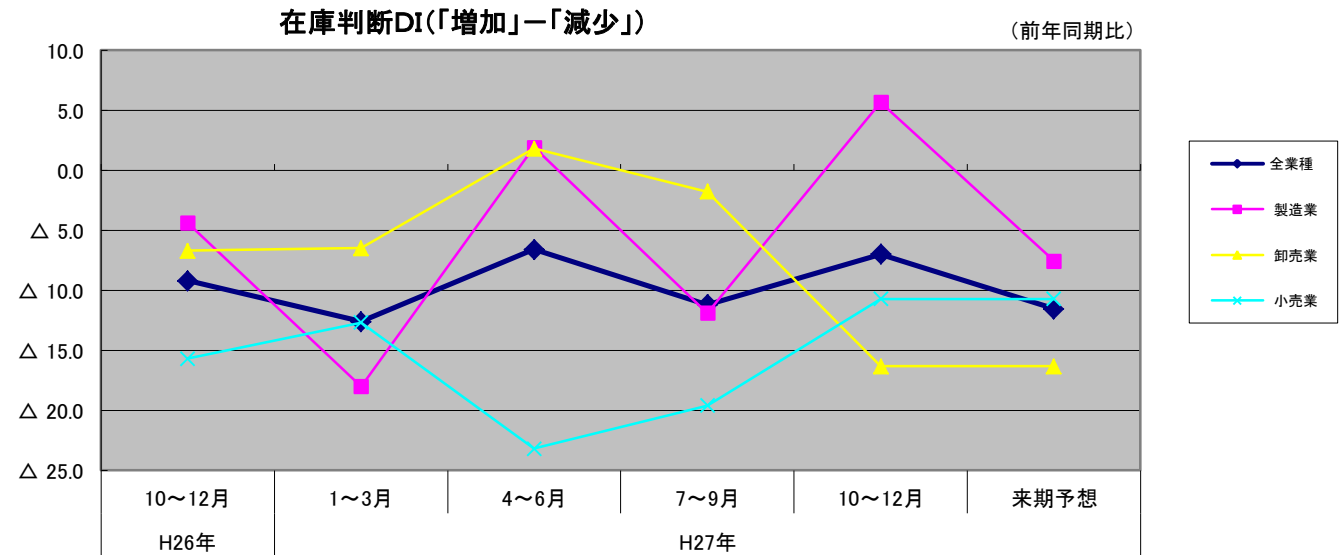
4. 製品・商品の在庫

全業種の DI 値は、△7. 0と前期(△11. 2)に比べ

4. 2ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別に見ると、製造業においてはマイナス幅が大きく縮小しプラスに転じた。小売業もマイナス幅が縮小したが、卸売業はマイナス幅が拡大した。

在庫判断DI (「過剰」-「不足」)					(前年同期比)	
	H26年	H27年				
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	来期予想
全業種	△ 9.2	△ 12.6	△ 6.6	△ 11.2	△ 7.0	△ 11.5
製造業	△ 4.4	△ 18.0	1.9	△ 11.9	5.7	△ 7.5
卸売業	△ 6.7	△ 6.5	1.8	△ 1.8	△ 16.3	△ 16.3
小売業	△ 15.7	△ 12.7	△ 23.2	△ 19.6	△ 10.7	△ 10.7

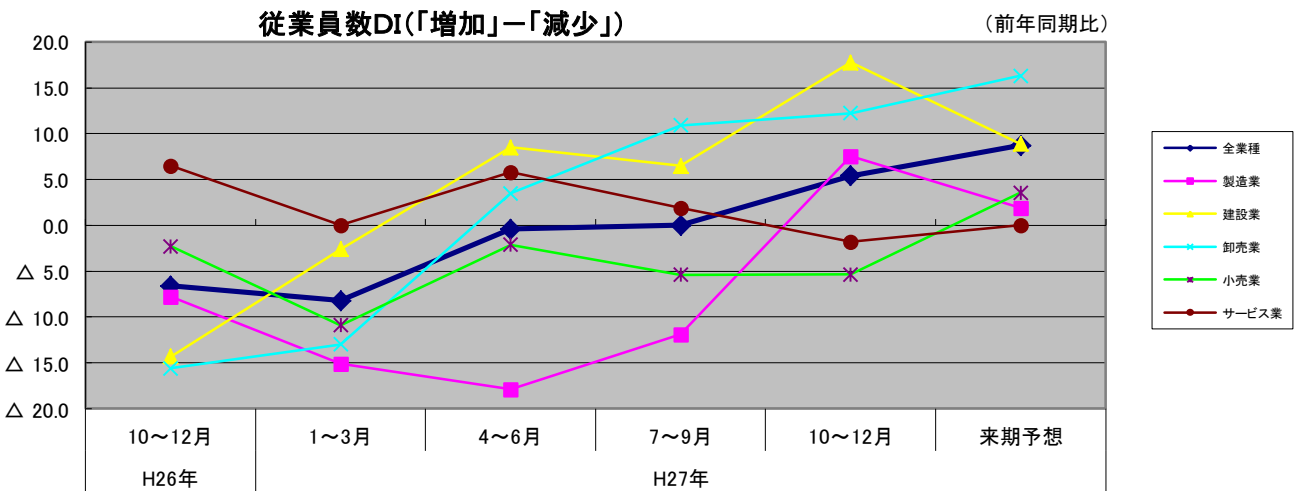


5. 従業員数 (臨時・パート含む)

全業種の DI 値は、5. 4と前期(0. 0)に比べ、5. 4ポイント増加した。

業種別では、製造業・建設業・卸売業で増加し、小売業では特に変化は無く、サービス業においては減少となった。

従業員数DI (「増加」-「減少」)					(前年同期比)	
	H26年	H27年				
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	来期予想
全業種	△ 6.6	△ 8.2	△ 0.4	0.0	5.4	8.7
製造業	△ 7.8	△ 15.1	△ 17.9	△ 11.9	7.5	1.9
建設業	△ 14.3	△ 2.6	8.5	6.5	17.8	8.9
卸売業	△ 15.6	△ 13.0	3.5	10.9	12.2	16.3
小売業	△ 2.3	△ 10.9	△ 2.1	△ 5.4	△ 5.4	3.6
サービス業	6.5	0.0	5.8	1.9	△ 1.8	0.0

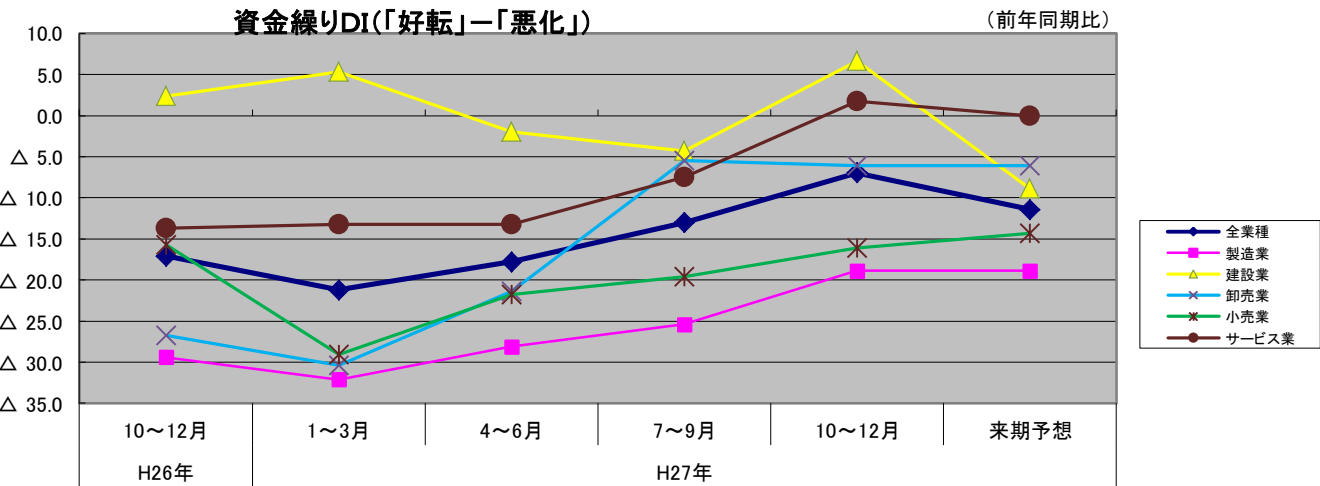


6. 資金繰り

全業種のDI値は、△7.0と前期(△13.0)と比べて6ポイント改善した。

業種別では、製造業・建設業・小売業・サービス業において改善したが、卸売業は悪化した。

資金繰りDI(「好転」-「悪化」)	H26年		H27年		(前年同期比)	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	来期予想
全業種	△ 17.1	△ 21.2	△ 17.8	△ 13.0	△ 7.0	△ 11.4
製造業	△ 29.4	△ 32.1	△ 28.1	△ 25.4	△ 18.9	△ 18.9
建設業	2.4	5.3	△ 2.0	△ 4.3	6.7	△ 8.9
卸売業	△ 26.7	△ 30.4	△ 21.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 6.1
小売業	△ 15.7	△ 29.1	△ 21.8	△ 19.6	△ 16.1	△ 14.3
サービス業	△ 13.7	△ 13.2	△ 13.2	△ 7.5	1.8	0.0



7. 経営上の問題点

今期の調査では前回調査で上位を占めた「需要の停滞」が2位以下に下がり、「(製品等の)単価の低下・上昇難」が上位を占める傾向となった。

各業種を見てみると、製造業と建設業においては需要の停滞が前回の2位から4位にランクダウンしており、需要が回復してきたことが窺える。一方で、卸売業・小売業・サービス業においては、前回ほどではないが需要の停滞は上位の課題であり、仕入単価の上昇や販売単価の低下・上昇難も加わり厳しい状況が続いていることが窺える。

	今期直面している経営上の問題点					上段:今回	下段:前回
	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)		
製造業	製品(加工)単価の低下・上昇難	生産設備の不足・老朽化	原材料価格の上昇	需要の停滞	製品ニーズの変化への対応		
	16.2	12.8	12.2	11.5	10.1		
	17.0	10.1	13.8	14.5	11.9		
建設業	請負単価の低下・上昇難	従業員の確保難	下請業者の確保難	民間需要の停滞	材料価格の上昇		
	11.6	10.7	10.7	9.8	8.9		
	6.1	14.1	8.1	10.1	10.1		
卸売業	販売単価の低下・上昇難	需要の停滞	仕入単価の上昇	人件費の増加	小売業の進出による競争の激化		
	19.3	17.5	15.8	7.9	7.0		
	15.4	21.7	19.6	8.4	2.1		
小売業	需要の停滞	仕入単価の上昇	店舗の狭隘・老朽化	大型店・中型店の進出による競争の激化	販売単価の低下・上昇難		
	14.5	13.8	11.0	9.0	9.0		
	17.9	12.4	6.9	6.2	10.3		
サービス業	利用者ニーズの変化への対応	需要の停滞	店舗施設の狭隘・老朽化	材料等仕入単価の上昇	新規参入業者の増加		
	17.4	13.9	11.3	11.3	8.7		
	14.3	15.2	6.3	12.5	6.3		